

次期学習指導要領に向けた 教科「情報」担当教員の意識

秀明大学

中園 長新

研究背景

- ◆ 2018年度採用教員採用試験までの高等学校教科「情報」教員採用（47都道府県）
 - 教員採用実績なし13自治体
 - 2018年度採用を実施したのは18自治体のみ
- ◆ 専任教員採用が少ないことによる問題（？）
 - 教科に関する専門知識の不足
 - 教科担当教員の意識が低い
 - 教科の重要性が過小評価される（単なるスキル学習と思われがち）

これらの問題に対して学校現場は
どのような意識を持っているのか？

意識調査の概要

- 期間：2018年2～3月
対象：A県およびB県の高等学校633校の情報教育
担当教員 ※中等教育学校を含む
方法：郵送による質問紙調査
回答：130件（回収率20.5%）
調査項目（抄）：
- ・ 所属校における教科「情報」に対する意識
 - ・ **教科「情報」に理解や支援について期待すること、要望したいこと**
 - ・ 担当教員、**管理職、他教科教員**、生徒、保護者、地域住民、**自治体、国（文科省）**
 - ・ 中教審答申、次期学習指導要領（科目の構成等）に対する評価

本発表ではここに着目

管理職に対する 期待・要望

- ・ 教科「情報」の重要性・必要性を理解してほしい
- ・ 工業など専門教科との区別
- ・ 教科「情報」教員＝校内ICT管理者という認識の払拭（教科に専念できる環境づくり）
- ・ 兼任ではなく専任での教員配置、TTの活用
- ・ 研修会の実施・充実
- ・ 設備の充実・改善

他教科教員に対する 期待・要望

- ・ 教科「情報」の重要性・必要性を理解してほしい
- ・ 教科「情報」教員＝校内ICT管理者という認識の払拭
- ・ 教科を超えた協力体制、連携の模索（各教科でのICT活用の推進）
- ・ TTとしての協力
- ・ 情報モラルの向上

自治体・国に対する 期待・要望

- ・ 教科専任教員の採用を義務化
- ・ 情報免許のみで採用試験受験可能にしてほしい
- ・ 大学できちんと「情報」を学んだ者を採用してほしい
- ・ 担当教員の高年齢化への対応
- ・ 補助金等予算面の支援、設備充実
- ・ 必履修単位数の増加
- ・ 大学入試に情報を採用
- ・ 教科書の質の向上ならびに時代に合わせた改訂
- ・ 研修会の実施・充実
- ・ プログラミング教育導入への疑問
- ・ 情報教育は小中学校で行うべき（高校では不要 or 選択のみ）

教科の重要性・必要性理解
業務内容に対する正しい認識
補助金等予算面の支援、設備の充実
研修会の実施・充実

今後の教科「情報」の発展に向けて

- ・ 管理職や他教科教員に対する教科の重要性・必要性理解の促進
 - 情報活用能力育成の本質を知ってもらう
- ・ 教科専任教員の配置
 - 教科「情報」専任教員として教員採用試験を実施
 - 情報教育を専門的に学んできた者を採用
 - 校内ICT管理者は別途雇用または外注で教員の負担軽減
- ・ 予算面の支援、設備の充実

こんな状況を
打開したい

早く教科「情報」の
担当から外してほしい

あなたからの
期待・要望もぜひ
教えてください！